



Press Release

2014年2月13日
ダウ・ケミカル日本
広報室

ダウ化工、ハビタット・フォー・ヒューマニティ・ジャパンに スタイロフォームを寄贈



(寄贈品を使った施工作業の様子
© Habitat for Humanity Japan)

ダウ化工株式会社（本社：東京都品川区、代表取締役社長：杉山隆博）は、グローバル規模で活動続ける非営利団体ハビタット・フォー・ヒューマニティの日本支部であるハビタット・ジャパンに対し、2014年2月5日付で100万円相当の「スタイロフォームTM」断熱材を寄贈したと発表しました。同時にダウ化工は、「スタイロフォーム」断熱材の施工に関する技術サポートを提供し、ハビタット・ジャパンの被災地での活動を支援します。

ハビタット・フォー・ヒューマニティは、世界中の低所得世帯と協力し、安全で手頃な価格の住宅を建設する活動に従事しています。日本においては東日本大震災の復興支援に注力し、震災から間もなく3年がたとうとしている被災地において、被災者が安心して住める家を自ら確保できるようさまざまな活動に取り組んでいます。ハビタット・ジャパンとして初となる日本での住宅問題への取り組みに当たり、ダウ化工は断熱材の提供を通じて東北の復興に貢献します。

今回の寄贈に関しダウ化工社長の杉山隆弘は「ダウが長期にわたってパートナーとして共に活動してきたハビタットに対し、日本においても支援活動を始められることを大変うれしく思います。ダウ化工は今後も、『スタイロフォーム』の安定的な供給を通じて、復興事業の促進に貢献していく所存です」と述べています。

ダウ化工は、米国石油化学品トップのダウ・ケミカルの子会社です。ダウ・ケミカルの「2015年持続可能目標」のひとつに、「地域社会繁栄への貢献」があります。この目標の達成を目指した国内活動の一環として、ダウ化工は、工場の所在地での地域貢献活動を中心としたさまざまな寄贈活動を実施してきました。ダウ・ケミカルの「スタイロフォーム」製品は、世界の押出發泡ポリスチレン断熱材市場でおよそ40パーセントの占有率を占め、住宅やビルの断熱材および土木建築用途で広く利用されています。

IMMEDIATE RELEASE FROM DOW

®TM ザ・ダウ・ケミカル・カンパニーまたはその関連会社商標

ダウ化工広報室 沢登 (電話：03 5460 6276 メール：rsawanobori@dow.com)

ダウは、科学技術の力を用いて、人々の進歩に本当に必要なことにイノベーションを起こします。化学、物理、生物学の力を結集し、清潔な水、クリーンエネルギーや省エネ、農業の生産性向上など、世界が直面する課題の解決に取り組んでいます。化学産業を代表する、ダウの統合化された機能性化学品、先端材料、農業科学品およびプラスチック事業は、成長著しい包装材料、エレクトロニクス、水、コーティングや農業などの分野において、約 180 カ国で製品やソリューションを提供しています。2013 年の年間売り上げは 570 億ドル以上、従業員数は約 5 万 3 千人です。世界 36 カ国 201 カ所の生産拠点で、6 千を上回る製品の生産に従事しています。米国ミシガン州に本社を置くダウは、1973 年に東京証券取引所に上場した最初の外国企業です。www.dow.com